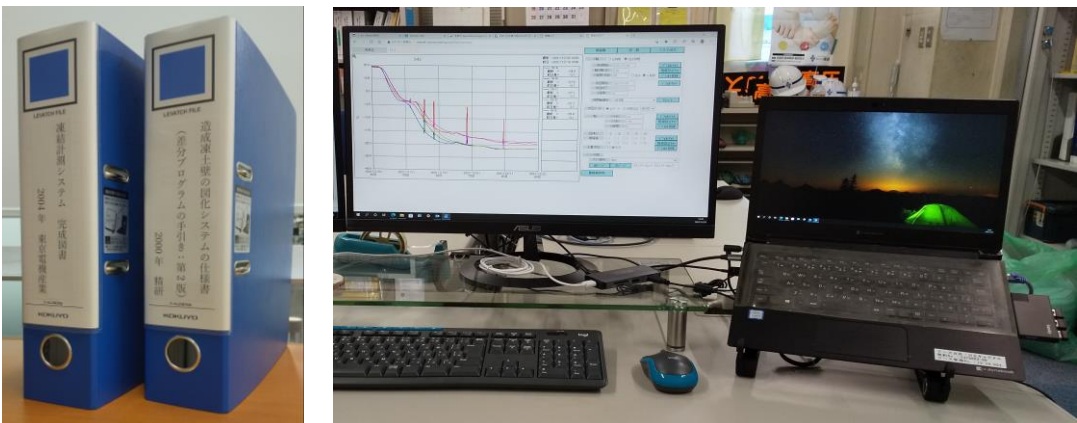


地盤改良範囲の完全把握を実現

登録番号	第 00332 号		
登録年月日	2022(令和4)年9月13日	登録区分	第一種(大量生産品等同様のものが複数あるもの)
名称 (型式等)	現場造成凍土壁の可視化システム関係資料		
所在地	千葉県市原市 株式会社精研 市原センター		
所有者 (管理者)	株式会社精研		
製作者(社)	株式会社精研、東京電機産業株式会社		
製作年	2000年、2004年		
初出年	1986年頃		
選定理由	<p>地盤凍結工法を用いた工事での凍土壁の様子を可視化するシステムの関係資料である。造成凍土壁の図化システムの仕様書や凍結計測システムの完成図書などが保存されている。遠隔監視の地盤測温数値である現場の地盤の実測値と、数値解析計算値で自動補正する地盤凍結熱解析ソフトウェアによる数値シミュレーション結果とをリンクすることで、造成中の凍土壁の可視化を実現した。現場の状況や機材の進展によって改善されながら、現在でも使用されている。地盤凍結工法国際シンポジウム (ISGF) での経緯等から世界初のシステムと推察される。地盤改良範囲の強度の完全把握を可能とし、工事の安全性を飛躍的に高めた技術として重要である。</p>		
登録基準	<p>一一〇 (国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの) 一一ハ (新たな科学技術分野の創造に寄与したもの)</p>		
公開・非公開	非公開		
写真	 <p>The image shows two blue binders on the left, each with a white label. The label on the right binder reads '凍結計測システム 完成図書' (Freezing Measurement System Completion Book) and '2021年 東京電機産業株式会社' (2021 Tokyo Denki Sangyo Co., Ltd.). To the right is a computer workstation with a monitor displaying a line graph with multiple colored lines (red, green, blue) and a laptop in front of it. The monitor shows a graph with a y-axis and x-axis, and several data series.</p>		
2022年の測温画面			
その他参考となるべき事項			